

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 人工膝関節前置換術(TKA)、人工股関節前置換術(THA)施行患者への深部静脈血栓症(DVT)に対するエドキサバンの予防投与状況について

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 藤下駿 (薬剤部・薬剤師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2026年5月25日～2026年12月31日

目的：整形外科手術の中で人工膝関節前置換術(TKA)、人工股関節前置換術(THA)は深部静脈血栓症(DVT)の高リスク群に該当する。

添付文書上、エドキサバンは下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制の適応について記載がある。

当院でもTKA、THA施行患者にはDVT予防としてエドキサバンが術後に処方されている。しかし、同じ術式であってもエドキサバンが予防投与されている患者、予防投与されていない患者が確認できる。添付文書上、エドキサバンは腎機能によって禁忌に該当する場合があるが、腎機能良好な患者であっても投与されていない事例が散見される。

本研究では、TKA、THA施行患者におけるエドキサバンのDVT予防投与の処方状況の整形外科医師への報告前後での、エドキサバンの処方状況を比較する。

方法：カルテ情報を用いた観察研究

■ 対象となる患者

2024年9月～2026年2月の間に人工膝関節前置換術、人工股関節前置換術が施行された方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：予定術式、下肢エコー、入退院、年齢、性別、体重、血液検査(Scr、Cre、D-ダイマー)、内服薬の種類等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

藤下駿、薬剤部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971